



④ Go into(世界の中へ) マルコ16:15

第57回2021年TPKF大会主講師・大田裕作師（配信動画より）

献身の証し

いのちのパンの家 伝道師 高橋洋子



今から六十二年
前の八月二十三日、私は初めて出席した山中湖畔の

私の心は恐怖に包まれました。戦いが始まりました。それは伝道者になるということに思えたからです。子供の頃から読書をしたり、童話を造ったりは大好きだったのに、なぜか人と話そうとすると、頭の中が空っぽで、言葉が何も出てこないからです。

聖書週間で、聖霊のバプテスマを受けました。最後の日の礼拝メッセージはスウェーデンからのターゲ・シューバーク師の「モーセの召命」でした。「主に用いていただきましょう。」との先生の勧めで一同立ち上がり、両手を高く上げて祈り始めました。前の年に救われた喜びから、私も主のために何か小さなことでもしたいと願ひ祈りました。一、二分するとすぐに、両手の先から何万ボルトかとおもわれる電流のようなものが体を貫き、私は部屋中に響き渡るような大声を出し、立っていられず、机に突っ伏し、涙と鼻水で顔中ぐしゃぐしゃです。神様のはかり知れない潔さと力に打たれました。火のバプテスマです。

「私は口が重く、舌が重いのです。私には出来ません。」と答えた心の中は嵐のようでした。主との戦いに疲れ果ててしまった私は三ヶ月後、降参しました。「はい、主よ。」と。平安がやってきました。

さて帰宅後、私の心に恐れがやってきたのです。主が語っておられるように感じたからです。

次の年の一月十九日、保土ヶ谷純福音教会で持たれた聖書学校で学び始めました。

さして帰宅後、私の心に恐れがやってきたのです。主が語っておられるように感じたからです。

今は、聖霊のバプテスマを受けた民宿から十分ほどの所にある家の教会で、聖霊さまとの親しい交わりをすることこそ、私にとっての伝道の原点であることを教えられ、導かれてくる人々に「主の思い」を伝えております。ペンテコステの祝福最高！ 御父、御子に栄光を帰して。

「私に従ってきなさい。」

高！ 御父、御子に栄光を帰して。

吉田隆 & 恵利子宣教師を支える会



京都キリスト福音教会 置田信也

「みことばを宣べ伝えなさい。時が良くても悪くてもしっかりやりなさい。寛容を尽くし、絶えず教えながら、責め、戒め、また勧めなさい。」

(テモテへの手紙第2章2節)

T P K F の兄弟姉妹からの吉田隆 & 恵利子宣教師を支える会へのご支援とご協力をありがとうございます。お二人は 1994 年に香港で海外宣教の働きを始められました。やがて中国からアジア全域へ、また全世界へと、時々必要に答えながら働きを広げて来られました。長い間、途切れることなく、働きが続けられてきたことは、とても感謝なことです。

私は、98 年にお二人の母教会である京都キリスト福

音教会に赴任しました。支える立場として、素晴らしい海外宣教の働きに加えてもらえたことを喜んでます。前線で体を張って働いておられるお二人を、ずっと離れた日本から祈って支えることに、歯がゆさを感じることがあります。しかし、海外宣教はチームの働きです。宣教師と母教会、そして宣教団体それぞれに神様から委ねられた役割と立場があります。お二人の宣教の報告を誰よりも早くお聞きできることは、母教会の大きな恵みです。生き生きとした宣教の証しを聞く度に、神様ご自身が海外宣教の働きを推し進めておられるのだという確信が強くなります。

昨年からのコロナウイルス感染の広がりによって、実際に海外に出て行くことが困難な状況にあります。しかし、IT の進歩によって宣教情報は以前と同じように届き、このために祈ることができます。私は、現地での宣教活動が再開される日も近いと信じています。これからも吉田隆 & 恵利子宣教師を支える会をよろしく願いいたします。

～ T P K F 三役の提言～

神の御業を信じて進む



T P K F 副委員長 山本義武

「見よ。わたしは新しい事をする。今、もうそれが起ころうとしている。あなたがたは、それを知らないのか。確かに、わたしは荒野に道を、荒地に川を設ける。」

(イザヤ書 43 章 19 節)

2020 年から感染拡大した新型コロナウイルスが、これほどまでに全世界を席卷するとは誰が予想できたでしょうか。礼拝スタイルの変化を迫られ、もう少し先であろうと思われた礼拝や諸集会のインターネット配信が世界的に急速に普及し、礼拝や交わりの本質、教会の在り方などを改めて考えさせられました。この状況の中、これからの福音宣教や教会形成を思うと、以前と全く同じようになるのではなく、礼拝や交わりの本質を保ちつつ新しいスタイルや新しい方法が用いられ、さらに前進していくだろうと思わされます。

日本の歴史を顧みる時、困難と迫害の中で信仰を手放

してしまった人たちがいる反面、多くのキリスト者たちが、その厳しさの渦中を前進し続け、キリストを宣べ伝え、コミュニティーが形成され、信仰の継承がなされてきました。

聖書では、出エジプトの民たちが予想もしなかった荒野の生活へと導かれ、不平と不満の中で、岩から水がほとぼしり出て渇きが癒され、神が用意されたマナを食べ、飢えを満たし、昼は雲の柱、夜は火の柱で彼らを導かれる神を経験しました。もしエジプトに引き返したり荒野の歩みをしなかったのならば、このような神の御業を経験することはなかったでしょう。神は、何も無いところに祝福を用意され、神が愛する民を約束の地へと導かれました。

この神の御手によって、私たちはコロナ禍にあっても前進できると確信します。このコロナ禍だからこそ神の素晴らしさを体験できると信じます。神は新しいことを準備されています。荒野には道が、荒地には川が設けられるのです。神の方法が与えられていくのです。

T P K F の皆様とともに神の御業を経験する恵みにあずかりながら、ますますキリストの愛と希望を届けようではありませんか。

< TPKF大会 宣教70周年記念礼拝 / 祝賀会 大田裕作師説教要約 >

● 記念礼拝説教

「こうして、教会はユダヤ、ガリラヤ、サマリアの全地にわたり築き上げられて平安を得た。主を恐れ、聖霊に励まされて前進し続け、信者の数が増えていった。」

(使徒の働き 9章 31節)

教会はいつも逆風の中で前進してきました。ラルフ・ウィンター(宣教学者)は、「神の国の逆襲」という論文の中で、教会が異教勢力に呑み込まれようとするとき、かえって異教徒たちが福音を聞き、その地方・国に福音が広がっていったという神様の逆襲を描いています。

使徒 9章 31節には「主を恐れた」と「聖霊に励まされた」というキーワードがあります。「主を恐れた」とは私たちがキリストに向かっていく求心的な力であり、「聖霊に励まされた」とは外に向かっていく遠心的な力です。教会が前進するにはこの二つの力が両輪のように働かなければなりません。

宣教がこれからもダイナミックに引き継がれていくために、四つのポイントでお話しします。

① 「信仰のエッセンスを握る」

パウロは、すべての民族・部族が等距離でキリストに近づける、そしてその福音の核を握って、あとは各地の文化に従って発展していったらよいと語りました。

● 祝賀会説教

「こうして、教会はユダヤ、ガリラヤ、サマリアの全地にわたり築き上げられて平安を得た。主を恐れ、聖霊に励まされて前進し続け、信者の数が増えていった。」

(使徒の働き 9章 31節)

日本の人口は1億2600万人ですが、教会数は8000になります。この人口から計算すると、一教会1万5600人が対象となります。日本キリスト教団の資料になりますが、1950年の受洗者数は10.7人、2014年は0.7人になっていて、少子化傾向のある日本で教会も受洗者数が減っています。長い間西欧のキリスト教は信徒養い型牧会を中心にしてきました。つまり内向きの教会形成が中心であり、外に出ていく事が少なかったのです。教会から出て行って失われゆく人々にキリストを宣べ伝えて行く時に来ています。

世界が日本を見る時、未伝地の一つに数えられています。これからの日本の教会に必要な事は開拓伝道のスピリット

② 「現代社会に適応する柔軟性」

ジョン・ストット(宣教学者)は、「人々が福音を受け入れないのは、それが間違っていると考えるからではない。自分の生活に異質だと感じるからである。」と言いました。私たちは初期の宣教師たちのあり方をまねるのでなく、人々と共に生活しながら友人として信頼を勝ち得て、それから徐々に福音を提示していく必要があります。

③ 「世代を超えたチーム作り」

生活的な感覚を共感できる世代が細かく分断されています。次世代に届くにはどうしても彼らの声・感性が欠かせません。年配の方々には若者を励ましながら用いていただきたいのです。

④ 「Go into (世界の中へ)」

アジアアクセスジャパンの調査によると、コロナで礼拝を配信する教会が増え、日本にある8千の教会が瞬間風速5万を超えました。今信徒の家庭が礼拝の場所となっています。もう一つの「Go into」は世界宣教への貢献です。信徒100人に一人の宣教師は不可能な数字ではありません。すべての世代が一丸となって、世界の必要のある場所で宣教の負債を返していきたいと願います。

主を恐れ、聖霊に励まされて、ご一緒に前進しましょう。

(西川牧雄)

とその方法論を身につける事です。世界に家の教会を含めて500万の教会があり、そのうち200万人の牧師は神学校を出ていない方々ですが、彼らによって多くの教会が生み出されています。必要な神学は原野開拓型神学です。聖書のみことばに立つみことば信仰、そして、聖霊体験が必要です。そして、自分の救いの証をどこでも、誰にでも分ち合い、救霊のための熱き祈りが必要です。

もう一つ必要なことは次世代の弟子育成です。2テモテ2章にあるように忠実な人に福音を委ねる事です。弟子とは①主のみ名によって祈る人、②自分の救いの証ができる人、③キリストに従順して生きる人です。

祝福のカギは母教会との健全な関係を持つことです。多くの実を結ぶ事ができます。

世界の祝福となる日本の教会となりましょう。インドネシアで日本から来た宣教師です、と自己紹介をしたら「初めて日本の宣教師を見た」と言われました。日本から1000人の宣教師を送り出しましょう。

(中見 透)

2021年 第57回TPKF大会 (リモート大会) 総括



大会委員長 雲井キリスト福音教会牧師 森田 繁雄

70周年記念大会は、プロGRESS (前進) する事の意味を問いながら、つかみどころのない全世界を覆った新型コロナウイルス禍で、開催することになりました。また、2020年に実施すべき大会が順延されて、感染対策防止を念頭に、大会史上初のリモート大会となりました。

参加者をカウントすることはできませんが、視聴回数 690 に教会等で見てくださった方の数を加えると、800～1000名と考えることができます。

講師を通して、「宣教への前進」のために、主を恐れることと聖霊による励ましの大切さが語られました。(YouTube

で、TPKFで検索すると今もご覧になることができます。)

新型コロナ禍の中で、前進するために、変革することが必要とされています。

変革 (イノベーション) から前進 (プロGRESS) へと導かれたこの大会に、次回神はどのような器を立て、どのようなテーマを与えてくださるのかを日々の歩みの神からの応答として待ち望みます。

視聴者として、担当者として支えて下さり、祈り捧げて下さった皆様方に感謝をもって報告致します。

TPKF大会の報告

今回、キリスト福音教会の担当で、TPKF70周年大会をオンライン開催することになり、収録、編集、配信に対応するために守山キリスト福音教会が主会場となりました。



Fida代表 ハリ・ハコラ師より届いたご挨拶

2021年5月2日の大会開催に先立ち、世界中の各宣教グループ代表の皆様からは、字幕を載せた祝辞動画が、国内からも祝辞動画が送られ、主講師のメッセージ、賛美、キッズ賛美の収録は、1週間前の日曜午後に行われました。長時間にわたる収録を終え、短期間での編集を経て配信された70周年記念大会は、6月末時点で900件を超える視聴参加があり、それぞれ一人参加で800人、二人参加で1600人、3人参加で2400人…とこれまでの参加者をはるかに超える参加となりました。

大田裕作師は、主を恐れ (求心的)、聖霊に励まされ (遠心的) という両輪を教会が前進するために必要であると語られ、弟子訓練と伝道のバランスはどうか、教会成長 (内向き) から教会増殖 (外向きへ)、日本が世界第2位の未伝地であることなど、現実を知らされるとともに、主の再臨までに世界の祝福となれる教会を目標とするなど、大きなチャレンジを頂きました。次はどこまで行動に移せるかです。

本大会は、当初ライブ配信で行う予定でしたが、間際で、

守山キリスト福音教会牧師 上田 勇矢

万全を期するために「事前収録・編集・配信」に大きく変更されました。この決定を受けて、講師、奉仕者との日程調整を行い、収録日から配信日までの編集期間がわずか6日間ということになりました。収録は短時間でやり直しがきかな



キッズ・ダンス賛美

いという状況の中、収録音質に問題があり、編集者の作業は困難を極め、初めての編集作業は、文字通り寝る間を惜しんでのことでした。5月2日当日、「9時から礼拝で参加」という教会のニーズに対して大会のアップ完了が午前8時30分…ギリギリでしたが、間に合った時は心底、喜びと主への感謝をささげました。ご奉仕くださった方への感謝と、総監督である主に栄光をお返しいたします。



主講師ご夫妻に記念品の贈呈

あかし

TPKF 70周年記念礼拝に参加して 町田純福音教会 小川佐和子

TPKF 70周年記念礼拝に参加させていただき、大田裕作先生のメッセージを聞かせていただきながら、「このままではいけない。勇気をもって教会は変わって行かなければならない。」という危機感を強く持つと共に、このコロナ禍をどこかで言い訳にしていた私たちに対して、神様が「時が良くても、悪くても、しっかりやりなさい。」と励ましてくださっているように感じました。「コロナ禍こそ最大のチャンスだ！」と語ってくださった大田先生の言葉が私の背中を押しているように思いました。



大田先生のメッセージの中で、「世代を越えた教会のチームづくり」ということを今後の自分のテーマにして行こうと思いました。「若い世代が教会を出て行ったのではない。我々が追い出したのです。」という先生の言葉が私の心に刺さりました。

子供たちが、若い世代が、そして今集っておられる教会員の皆さんが「わくわくする礼拝」、「わくわくする教会」とは何かを真剣に考えながら世代を越えて楽しめる教会を目指してこれからも奉仕して行こうと思います。



TPKF大会オンラインに参加して 福井自由キリスト教会 河 寄 輝 義

TPKF 70周年の記念礼拝は、コロナ禍のため自宅からオンラインでの参加となり、従来の対面方式とは異なる新しいスタイルになりました。第一世代による証は、70年前、宣教師を始めとする兄弟姉妹の多くの犠牲により福音の種が蒔かれた事実と直接触れることができ、心が熱くなりました。大田師からは、初代教会が逆風の中で前進してきた歴史を通して、このコロナ禍・高齢化社会にある教会へのチャレンジが与えられました。振り返ってみると、教会の成長・成熟期の中で、いつの間にか律法的になっていなかったか？主より自分を第一にしていなかったか？若者世代の声に耳を傾けていたのか？と、耳の痛い話ばかりでしたが、「あ～そうです。主よ。」と、心の中で祈られました。そして衰退期と言われる現代にあっては、使徒9章31節の御言葉は励ましであり希望です。第二世代として、次の世代へ信仰のバトンタッチをするために。アーメン。

見えるところによらず、信仰によって 深草キリスト福音教会 杉山しげ子

70周年記念大会が映像を通しての開催になり、普段は出席できない兄弟方も今回は参加できる良い機会だと楽しみにしていましたが、緊急事態宣言が発令され、会堂での参加は数人となりました。しかし自宅でも参加可能というリモートならではの恵みに与えられた事と思います。“主を恐れ、聖霊に励まされ前進し続けた”（使徒9：31～）のみことばから大きな励ましと勧めをいただきました。世界中で新型コロナ感染が拡がり、圧迫されているような状況下でも、主はご自身の神の国の働きを前進させておられることを改めて示されました。使徒の時代同様に、困難をも益としてくださる神様は教会の祈りと宣教を祝福し、救いの御業を成し続けてくださることを感謝します。先輩方のお証しを聞き、単ペングループの歴史に思いを寄せながら、救われている大きな恵みを改めて感謝しました。神の国が更に拡大していきますように。



教会紹介

横須賀クリスチャンセンター 所在地：横須賀市衣笠栄町4-4-75

横須賀市のキャッチフレーズは米ドルで買い物ができる街。軍港のある横須賀らしく軍人が多く住み、必要に応じて英語との2か国語礼拝にも対応。地域に開かれた教会として子どもからシニアまでの広い年齢層の皆さんが出入り。ますます、地域に仕え、伝道していく教会として用いられていきたい。(芳三容子)



甲西キリスト福音教会 所在地：滋賀県湖南市中央1-44-1

1981年、フィンランドからエルキ&ライヤ・イカライネン宣教師夫妻が来日され、店舗付き住宅を借りて「ゴスペルハウス」を開き、伝道が始まりました。1993年に現在の場所に移転し、礼拝、子ども会、料理教室、英会話クラスなどが行われて来ました。コロナ禍の現在は、礼拝とバイブル・スタディをzoomを併用しながら続けています。疲れなく、ゆる〜い教会でありたいと願っています。(松本よしゆき)

教会情報

■町田純福音教会

津嘉山ファビオ、エリザベス協力宣教師が3年の町田での奉仕を終え、5月9日開拓伝道のため長崎市内に引っ越した。
新住所 〒852-8027 長崎市城山台二丁目29-5

■甲賀キリスト福音教会

2021年4月中島教芳長老に替わり、大北文広長老が新たに代表となった。

●メールアドレス変更

横須賀クリスチャンセンター yokosukachristiancenter@gmail.com
富士純福音キリスト教会グレイスチャーチ gracefuji7@gmail.com

書籍紹介

TPKF70年史



発行：単立ペンテコステ教会フェローシップ (2200円)

昨年準備されてきた「TPKF70年史」が今年の1月にリリースされた。主のなされた70年の出来事が感慨深い歴史としてこの本に紹介されている。65の教会の生い立ちと、これにかかわった宣教師、教職者が紹介されていて興味深いものがある。また、TPKF共通の教学施設、全国聖会、地方聖会、ちから誌、ペンテコステ誌、キャンプ場等の過去と現在がよくわかる。手元に一冊は置いておきたい70年史である。まだ少々残部があるようだ。

《問い合わせ先》キリスト福音教会▶宣教メディアセンター 075-633-6934、FCMF▶菅原純次師 0761-22-7440、イースト▶宮崎一実師 080-3700-8242

単立ペンテコステ教会諸教会 (名簿順)

北広島自由キリスト教会 / 平川キリスト福音教会 / 房総中央キリスト教会 / 大佐和キリスト教会 / 町田純福音教会 / 鶴見純福音教会
横浜フィラデルフィヤ教会 / 磯子フィラデルフィヤ教会 / 金沢フィラデルフィヤ教会 / 横須賀クリスチャンセンター
保土ヶ谷純福音教会神の愛チャペル / 大和あがないの丘キリスト教会 / 戸塚カルバリ純福音教会 / 栄シャローム福音教会 / 伊勢原聖書キリスト教会
秦野クリスチャンセンター / 北アルプスグローバルチャーチ白馬キリスト福音教会 / 南アルプスグローバルチャーチ小笠原純福音教会
甲府カルバリ純福音教会 / ハーベスト・チャーチ山梨 / 裾野純福音キリスト教会 / 御殿場純福音キリスト教会 / 富士純福音キリスト教会グレイスチャーチ
いのちのパンの家 / 小松ベタニヤ福音教会 / 小松南部キリスト教会 / ホープハウス / 福井自由キリスト教会 / プンキョウゴスペルセンター
松岡福音教会 / 丸岡福音キリスト教会 / 勝山自由キリスト教会 / The Lighthouse 749 (三国) / 武生自由キリスト教会
グローリーチャーチ教賀自由キリスト教会 / 金津福音キリスト教会 / 小浜キリスト福音教会 / 小浜キリスト福音教会三方伝道所 / 高富グレイスチャペル
岐阜純福音教会 / 岐阜純福音白鳥教会 / 岐阜ライフチャーチ / 美濃グレイスチャーチ / 本地ヶ原自由キリスト教会
瀬戸サレム教会 / 大阪キリスト福音教会名古屋伝道所 / 滋賀キリスト福音教会 / 守山キリスト福音教会 / 大津韓国福音教会 / 大津キリスト福音教会
田上キリスト教会 (大津キリスト福音教会伝道所) / 甲賀キリスト福音教会 / 水口キリスト福音教会 / 甲西キリスト福音教会
雲井キリスト福音教会 / 米原キリスト福音教会 / 綾部キリスト福音教会 / 亀岡ベタニヤ教会 / 京都キリスト福音教会
山科キリスト福音教会 / 深草キリスト福音教会 / 宇治キリストペンテコステ教会 / 木幡キリスト福音教会 / 大阪キリスト福音教会
須磨自由キリスト教会 / 神戸フィラデルフィヤ教会 / 南さつまキリスト福音教会

以上の教会に1部以上を送っています。私たちの願いはすべてのTPKFの信徒が1部ずつ持つことです。

ご意見、ご感想は次のメールアドレスをお願いします。pentecost@tpkf.org TPKFの公式ホームページ <http://www.tpkf.org>

